

祝 辞

国東市立志成学園の九年生から一年生の全児童生徒の皆さん、畑野校長先生はじめ諸先生方、学園の職員の皆さん、本日の開校式典に当たり、皆様に心からお祝いを申し上げます。

本来ならば、保護者の皆様や地域の皆様、そして本学園開校のためにお力添えをいただいた多くの方々と今日の日をお祝いしたいと願っておりましたが、新型コロナウイルスの県内での発生状況により、式典を縮小せざるを得なくなり、大変残念であります。

しかし、今日の日は、皆さんにとって思い出に残る記念すべき日になるでしょう。

本学園は、本年四月から二つの校舎に分かれてスタートしましたが、校舎が完成し、この二学期から全校児童生徒が同じ校舎で勉学に励むことが出来るようになりました。

そしてここに至るまでの、地域・保護者・教職員の皆様方をはじめ、市民の皆様方、建設・創設関係者の皆様方のご支援・ご尽力に、心からお礼を申し上げます。

先ほど、「開校宣言」並びに「校旗授与」を見届け、国東市の新たな教育の形がスタートしたことを実感でき、感無量の思いであります。

皆さんも知っているとおおり、「志成学園」は、国東市内では初めての、大分県内でも二校目の九年制の義務教育学校であります。学園名も「志成学園」という大変素晴らしい名前を付けてくれました。

「志成」と言う言葉は、中国の歴史書にある「有志竟成」と言う言葉からとりました。「有志竟成」という意味は、「固い志を持つ人は、どんな困難も克服し、最後には、目的を成し遂げることが出来る」という意味だそうで、本当に素晴らしい学校名になりました。また、「有志竟成」という言葉は、ノーベル生理学医学賞を受賞された京都大学の本庶佑特別教授が、「もつとも大事にしていることば」としても知られています。さらに、「志成」の「志」は校訓のひとつである「立志」にも通じることばです。

「名は体をあらわす」ということばがあります。今後、児童生徒、そして教職員の皆さんと地域の方々为一体となって、学校の名にふさわしい、「高い志をもってそれを成し遂げるための努力を惜しまない」ことを目標に、「人を愛し、ふるさと国東を愛し、これからのグローバルな社会を生き抜くための新しい教育、学校づくり」に挑戦することを期待しています。

さらには、一年生から九年生までの皆さんが、同じ校舎で、お互いを認め合い、お互いに磨き合うことは、人間としての成長や、一人一人の良さを最大限に引き出すことができるものと、信じています。きっと皆さんは、その第一期生として、新しい歴史を創り、これから続く後輩たちのお手本となる姿を見せていただけるものと信じています。

また、校長先生はじめ諸先生方にも、地域や保護者の皆様方をはじめとするすべての市民のご期待に応えるべく、持てる指導力や人間性を惜しみなく児童・生徒のみなさんへ注ぎ込んでいただき、「有志竟成」に込められた思いの実現に向けてご尽力くださいますよう、お願い申し上げます。

産まれたばかりの「志成学園」です。開校の年が新型コロナ禍という、私たちにとってこれまでに経験したことのない厳しい年になろうとは夢にも思いませんでした。しかし「ピンチはチャンス」とも言われるように、この苦しい時期を乗り越えるためにも、みんなで「志」を一つにして、新しい歴史を切り拓いていきたいと思えます。

結びに、児童生徒、保護者、地域と共により良い学校づくりをする為、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、皆様方のご健勝・ご多幸、そして「志成学園」の児童生徒、そして職員の皆様方が今後益々充実した学校生活を送るとともに、「志成学園」が大きくはばたくことを祈念し、お祝いの挨拶といたします。

令和二年八月二十八日